



すてきな三にんぐみ

トミー・アンゲラー さく

いまえ よしとも やく

偕成社 1969年 1260円

38ページ 30×22cm

黒いマントに黒い帽子の怖い泥棒三人組。今夜もおどし道具を持って、山を下り獲物を探します。これまで手に入れた宝の数々は、すべて山の頂上の洞穴の中。そこが三人組の隠れ家です。

ある夜、いつものように馬車を襲った三人が手に入れたのは、金銀財宝ではなく、みなしごの少女ティファニーちゃん一人でした。連れ帰ったティファニーちゃんに、財宝の使い道を尋ねられた三人は使い道を考えていなかったことに気付きます。さて、三人は相談して何を始めるのでしょうか。

青い背景と三人の黒いコントラストがとても印象的です。お話とぴったりあった絵でぐんぐん引き込まれます。



スモールさんはおとうさん

スモールさんシリーズ

ロイス・レンスキー ぶん・え

わたなべ しげお やく

福音館書店 1971年 絶版

48ページ 18×18cm

(2004年 童話館出版 カラー版あり)

丘の上の大きな家にすんでいるスモールさん一家5人の1週間の生活を楽しげに、またシンプルな絵で表現しています。月曜日から金曜日まで家族で力を合わせ、家中の家事をこなし、土曜日にはスーパーマーケットへお買い物に出かけます。そして、日曜日には教会へ行き、午後はドライブへ出かけます。1951年に出版されたこの絵本は、古きよきアメリカの家族の姿を暖かく描き出しています。親しみやすい素朴な絵と、読み終わったあとの幸せな読後感というのがこの絵本の一番の魅力といえそうです。

新しい版では残念ながら始まりと終わりのスモールさんシリーズの素敵な絵がカットされています。

